

# 吉田統括監だより

第11号

町民の皆さまこんにちは。新年度を迎え、皆さまにおかれましては健やかに過ごしのことと思います。さて、10月からスタートした錦江町総合戦略の説明は本号が最終回となります。

## 1 錦江町総合戦略改訂版における『取り組み』について（第7回）

先月号では『ひと(人)づくり』について解説しましたが、本号では5つ目の戦術である『絆づくり』を紹介します。なお、総合戦略そのままの表現では非常に分かりにくいいため、簡潔平易な表現に努めると共に町民の皆さまにとって重要だと考えられる内容を抜粋して説明します。

### 1) 絆づくりについて

町民を対象としたアンケートでは『安心』や『支え合い』に関する要望や提案が大変多く、このことは山間地集落を中心に、急激な人口減少と高齢化に伴う『集落の活力』の減退に対して大きな不安を感じている方々が大変多い結果であろうと捉えています。

しかし、大変残念ながら、旧2町あわせ20年間で約3500人も人口が減ってしまった状態では、**人口減少や高齢化を即効的かつ劇的にくい止めることは困難**です。

現実的に出来ることは、同じような状況に置かれながら、必死に対策を講じている**全国の自治体と連携し**、互いの知恵を持ち寄りながら、『先端情報通信技術』や『新たな公共の考え方』など、**固定概念を排し、新たな発想による繋がり方、支え方や支えられ方をこれまでの取り組みと積極的に組み合わせること**です。我慢すべきところは互いに我慢し合いながら、なるべく多くの方々が『互いの支え合い』を実感し、安心して生活できる**ゆるやかな絆づくり**に向けて**町民の皆さまや役場各課と共に挑戦**します。

### 2) 『絆づくり』の為の事業内容

- i 各世代が『役割』を担い、元気に活躍できる『地域』づくり
  - i - 1 91自治会『錦江町の未来づくり』途中経過報告会及び意見交換会2017
  - i - 2 町民と役場の新たな発想による役割分担型コミュニティの実証実験
- ii ゆるやかに柔らかく繋がり、支え合える『互助関係』づくり
  - ii - 1 元気な高齢者による地域支援の仕組み研究
  - ii - 2 過疎が進行しても互いに支え合える集落のあり方研究
- iii 移住者と在来町民をゆるやかに繋げ、相乗効果を町の力に変える『場』づくり
  - iii - 1 町議員ボランティア集団『あなたの移住応援します隊』との協働事業
  - iii - 2 『広報いっしょにつくり隊』による町の取り組みの『見える化』促進
  - iii - 3 若手町民を主体とした『錦江町ブランドの全国へのPR』活動に対する支援
  - iii - 4 移住者を積極的に受け入れたい『集落＝自治会』に対する支援
  - iii - 5 錦江町民による全国への情報発信活動に対する支援

## 2 錦江町 まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 事務局がスタートしました。

先月号で紹介しましたが、全国または世界の各地より集結した『志が高く熱い』5人の職員と共に、4月3日より『地域活性化センター神川』（旧 神川中学校）において、事務局を開設しました。

1階『職員室』と『校長室』が我々の事務所ですので、お気軽にご相談にお越しく下さい。

なお、4月中は暦通りの勤務とし、**5月の連休明けからは土日祝日も全てオープン**します。

## 3 事務所開設記念行事として、錦江町『農業の未来』に関する講演会を開催します。

**5月8日(月) 17時30分**より、神川中学校にて事務所開設記念講演会を開催します。(17時開場)

講師として、政府農業関連委員を歴任されている**元食糧庁長官の『高木賢』様**をお招きし、町民の皆さまにとって最も関心が高い『日本と錦江町における農業の未来』についてご講演いただきます。

大変貴重な機会ですので、どうぞお気軽にお越しください。